

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語VB	
科目基礎情報							
科目番号	0112		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	電子制御工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	Successful Keys to the TOEIC Test(桐原書店)						
担当教員	根本 栄一						
到達目標							
(科目コード：M 10992、EE 20992、EC 30992、Mb 40992、Ci 50992、英語名：English VB) この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。科目の到達目標評価の重み学習・教育到達目標との関連①様々な英語トピックを聞き、それらの内容についてほぼ理解し、要点を把握することができる50%(b3) ②トピックで用いられている語彙やフレーズを身につけ、それらを使った簡単な英会話の聞き取りができる。25%(b3) ③トピックで用いられている語彙やフレーズを身につけ、それらを使った英文を論理的に話したり、書いたりすることができる。25%(b3)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英文の内容を理解し、要点を把握できる		英文の内容を理解し、要点を把握できる		英文の内容を理解し、要点を概ね把握できる		左記に達しない
評価項目2	トピックで用いられている語彙・フレーズを聞いて自分の言葉を用いて理解をすることができる		トピックで用いられている語彙・フレーズを聞いて理解をすることができる		トピックで用いられている語彙・フレーズを聞いて概ね理解をすることができる		左記に達しない
評価項目3	トピックで用いられている語彙・フレーズを読んで正確に理解することができる		トピックで用いられている語彙・フレーズを読んで理解することができる		トピックで用いられている語彙・フレーズを用いて英文を読んで概ね理解することができる		左記に達しない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語V-Bでは、TOEICテストの総合演習をテーマとし、TOEICテストで得点が400点を超えられないで悩んでいる人を対象とします。ボキャブラリーのボトムアップを目指し、TOEICテストでの基本事項を反復学習します。授業外でも反復学習を継続すれば、各トピックに関する言語表現に慣れることになり、将来の英語でのコミュニケーション場面（聞く・読む）に対応できる基礎が身につきます。						
授業の進め方・方法	TOEICテストの総合演習用に作成されたテキストを使用します。授業中は、演習問題を解いていくことが中心になります。リーディングでは、日本語訳を学生に求めます。リスニングでは、集中力とポイント把握を学生に求めます。また、英検準2級の面接指導を行い、スピーキング能力の育成も図ります。						
注意点	1) ボキャブラリーのボトムアップを目指すため、単語テストを頻繁に実施します。 2) 本科目は、面接授業を前提としている。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態においては、遠隔授業を行う可能性があります。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	授業説明を行う	本科目の説明を受け、授業の課題や取り組み方法を理解する。			
		2週	Unit 1 Daily Life	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		3週	Unit 2 Places Unit 3 People	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		4週	Unit 4 Travel Unit 5 Business	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		5週	Unit 6 Office Unit 7 Technology	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		6週	Unit 8 Personnel Unit 9 Management	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		7週	Unit 10 Purchasing	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		8週	Unit 11 Finances	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
	2ndQ	9週	Review	復習			
		10週	Unit 12 Media	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		11週	Unit 13 Entertainment	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		12週	Unit 14 Health	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		13週	Unit 15 Restaurant	左記の内容を理解し、テキストの問題に独自で取り組むことができる。			
		14週	音読テスト①	規定秒数間で該当箇所の英文が音読できる。			
		15週	音読テスト②	規定秒数間で該当箇所の英文が音読できる。			
		16週	解説	振り返り			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		
				英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。		3		
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。		3		
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。		3		
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。		3		
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。		3		
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。		3		
評価割合							
	小テスト	音読テスト	出席・態度			その他	合計
総合評価割合	50	40	10	0	0	0	100
基礎力	40	30	10	0	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	10	0	0	0	0	20